

10/24 木曜

私有地の穴 地方議員視察

は、地盤を確認する目的で掘られた調査斜坑があります。

ゲートの横には「国際ハイウェイ財団」の看板があります。同財団の資料によると、調査斜坑は2007年までに



日韓トンネル編

九州北部から長崎県の鹿島対馬を経由して韓国に至る

「日韓トンネル」構想は、統一協会(世界平和統一家庭連合)の開祖・文鮮明が1981年に提唱した国際ハイウェイプロジェクトの一部です。地上部分を含む総距離は210kmを超えて、完成には10兆円を要すると言われています。

佐賀県唐津市の山間部に、私有地に掘られた「巨大

調査に45億円

日本共産党の井上祐輔議員は、「日韓トンネル」の調査による、周辺一帯の土地は統一協会が所有している。た時期を経て、現在は同財団の敷地になっています。調査斜坑は、国や自治体が闇合せを要する必要があります。

昨日午後は、佐賀県唐津市の日韓トンネル名屋調査斜坑を視察しました！

公式なプロジェクトにはなっていませんが、經濟的だけでなく平和的目的のがれて実現することを願っています！

若谷修治
2017年6月24日

日韓トンネル調査斜坑の様子を投稿した自民党の若谷修治・坂出市議のフェイスブック

な穴」です。

同財団の財産目録によるところ、調査斜坑の建設費は約21億7500万円で、調査費は約45億6600万円。同財団の初代理事長で統一協会の元長老務めた梅栗玄太郎氏が、

16年1月14日、ある人物が

著書「日韓トンネル30年の歩みと展望」で、専門家を集め

て、韓総裁は「天の願いを叶（かな）えてさしあげる」とのできるプロジェクト」と最大限に称賛しました。

2010年代は全国各地で日韓トンネル推進組織の結成が急拡大した時期でもあります。10年11月には都道府県で2番目の推進組織「日韓トンネル推進徳島県民の会」が発足。翌年10月の徳島県議会で、自民党議員29人が提出書「日韓トンネルを求める意見書」が可決されています。

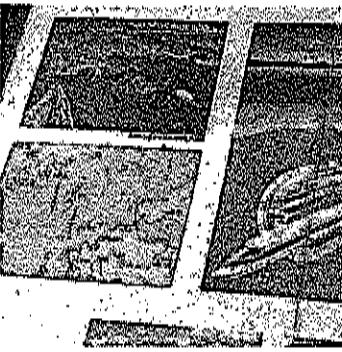
た調査・研究の費用について述べています。

「そのための大（ほ）だいな経費は、主に統一協会の信徒らの浄財によって賄われた」

同年8月24日は、香川県議会の視察ツアーで10人（県議6人、市議1人を含む）が訪れていました。そのときの様子をフェイスブックに投稿した議員がいました。自民党的若谷修治・坂出市議です。スマートな男性たちが斜坑内で説明を受ける写真つきで「実現する」ことを願います」と投稿していました。

直後の同年9月には、日韓トンネル推進香川県民会議の結成大会が開かれています。取材班は電話で若谷議員に「視察には誰が参加したのか」「視察の目的は香川県と関係があるのか」と質問。若谷議員は、調査斜坑を視察した事實を認めた上で、「コメントを控える」と述べました。(つづき)

日韓トンネルの完成予想図を掲載した国際ハイウェイ建設事務局(現財團)の資料



全国各地に推進組織結成

政活費で参加

地方議員による調査斜坑の

視察も行われていました。取材班が確認した視察記録によると、15年9月14日に岐阜県民会議の7人（県議1人、市議1人を含む）が視察。17年6月14日には、統一協会宮城教区の7人（県議5人を含む）が視察した記録もあります。当時、宮城県議会の自由民主党に所属していた5人が政務活動費で参加していましたが、これが分かっています。